

■【トピックス】

アメリカ大統領選挙！



今年はアメリカ大統領選挙の年です。報道では、民主党と共和党の候補者を決める予備選挙の様子が伝えられています。両党とも経済的な格差が極端に広がる中、既成の政治の枠組みを壊すと主張する候補が注目を集めています。

米国の経済的な格差は、もはや差別的でもあり、庶民の不満が高まっています。このような状況の中での選挙です。日本も格差が拡大していますので、米国の現状は、将来の日本の姿かもしれません。

■【ビジネス・アイ】

マイナンバー制度の活用！

- 社長 「ニュースを見ていたら、マイナンバーを管理しているサーバーが故障続きだとかいっていたね。年金と同じように流出しないか心配だよ」
- 花野 「そうですね。年金と同じように民間企業では考えられないことですね。一言でいえば杜撰ですね。業者との癒着もありそうですね」
- 社長 「本当にマイナンバー制度は始まったはいいいけど、われわれにとってはデメリットばかりだね」
- 花野 「個人番号に関してはメリットは感じられませんね。でも法人番号については活用することでメリットを享受できる可能性がありますよ」
- 社長 「法人番号って、税務署から送ってきたあれだよな。あれって何か使えるの？」
- 花野 「法人番号は、個人番号のように利用制限がないので、誰でも自由に取得して利用していいですよ。インターネット上の“国税庁法人番号公表サイト”では、検索や基本3情報が簡単にダウンロードできるんですよ」
- 社長 「そうなんだ。そこにはすべての法人の番号が載っているのかなあ？」
- 花野 「はい、すべての法人と納税義務の生じている人格のない社団等の①法人番号、②商号又は名称、③本店又は主たる事務所の所在地が載っています」
- 社長 「それならうちでも業務に活用できるかもしれないね。ちょっと検討させてみるよ」
- 花野 「一度、公表サイトもご覧ください」

■【今月のキーワード】

法人番号

法人番号は、1法人に1つ割り振られる番号です。法人番号は、個人番号（マイナンバー）とは異なり利用範囲の制約がなく、誰でも自由に利用することができます。また、法人だけでなく、納税義務の生じている人格のない社団等にも法人番号が指定されます。すでに番号を指定された各法人へは、文書で番号が通知されています。さらに、基本3情報である、①法人番号、②商号又は名称、③本店又は主たる事務所の所在地、に関しては国税庁の法人番号公表サイトで公表されています。

■【今月の1冊】

『TPPに隠された本当の恐怖』

苦米地英人 著  
サイゾー ¥600

2月に調印されたTPPですが、未だにその全容は明らかではありません。正文に日本語もなく、英文で1,500ページというボリュームがあります。

従前より危惧されていた条項であるISDS条項に関して説明が不十分です。アメリカでも反対の声が日増しに大きくなっています。TPPの隠されたリスクを知る上で参考となる手軽な1冊がこの本です！



■【編集後記】

お酒は強くないのですが、時々飲みに行きます。どちらかというと日本酒やワインなどの醸造酒はあまり得意でないですね。それにもらず、最近、お誘いを受けるのは、なぜかワイン会です。赤か白かぐらいしか分かりませんが楽しく飲んでます。

『経営のセカンド・オピニオン』vol.109（毎月1日発行）

- 定価：2,400円/年 ●発行日：2016.4.1 ●発行人：花野康成
  - 編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア
- 〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F  
TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808  
<http://homepage3.nifty.com/binspire/>